



家庭での学習について

保存版

保護者の皆様へ

円山小学校では、子どもたちの学ぶ力の育成に取り組んでいます。そのためには、御家庭の協力が必要です。学校と家庭がともに手を携えて、子どもたちと関わっていくことにより、子どもの力は何倍にも高まります。6年間を通して、自ら進んで意欲的に学習する子どもを育てることを目標に、宿題から段階的に自主学習へと切り替えていきます。

家庭での学習（宿題・自主学習）の習慣化に向けて、御協力をお願いいたします。

各学年の取組



	月	火	水	木	金
1年	宿題		宿題		宿題
2年	自主学習	宿題	自主学習	宿題	自主学習
3年	自主学習	自主学習	自主学習	自主学習	自主学習
4年	自主学習	自主学習	自主学習	自主学習	自主学習
5年	自主学習	自主学習	自主学習	自主学習	自主学習
6年	自主学習	自主学習	自主学習	自主学習	自主学習



家庭での学習の意義

- ①学校で学習した内容をより確かに定着させることができる。
- ②家庭での学習習慣が身につく。
- ③自ら学ぼうとする態度が身につく、学習に対する自信が高まる。
- ④脳が活性化し、鍛えられる。
- ⑤我慢強さ、根気、集中力が身に付く。
- ⑥家族がふれあう機会となり、子どもの精神安定につながり、心身も頭脳も健やかに育つ。

家庭での学習の習慣化のポイント

短い時間から少しずつ始めることが大切です。

あくまでも『学年×10分間』は目安であり、無理して取り組むと長続きしません。

家庭での学習のポイント

- 毎日、時刻を決める。
- テレビを消す。
- 机の上と、周囲の清掃をする。
- 必要なものをきちんと準備する。
- 自分で決めた時間をやり続ける。
- 始めたら立ち歩かない。
- 姿勢を正しくする。
- 保護者の方の励まし。

初めは一人ではできません。
時々声をかけ、一緒に取り組んであげましょう。



1年生の宿題のポイント

<1年生はこんなとき> 参考資料：文部科学省HPなど「子どもの発達段階」

- いろいろなことに興味をもち、何でも知りたがっている。
- 一人で家庭学習をやりきるためには、家族の手助けが必要不可欠である。
- 成長に個人差が見られる。頑張ったことを褒めて欲しいと思っている。



<学校の主な学習内容>

- ひらがな、カタカナ、80字の漢字を学習する。
- 生活と結び付いた学習が多く、具体物を使ったり実際に体験したりしながら学ぶ。
- 繰り返し練習することによって、力のつく学習内容がたくさんある。
- 「鉛筆を正しく持つ」「明日の学習準備をする」「整理整頓（持ち物の管理）をする」は、学習の基本である。

国語

- 「あいうえお」の口形に注意し、句読点に気をつけて大きな声ではっきり読む。
- とめ、はね、はらいに気をつけて丁寧にゆっくりと書く。
- 本をたくさん読む。（読み聞かせを含む。）



算数

- 10の合成、10の分解がスムーズにできるようにする。
- 正しくできるようになったら、少しずつスピードを上げて練習する。
- 日常の生活の中で、時刻が読めるようにする。

<ほめて励ます言葉がけ> 取り組んだことをほめることが大切です。何かに例えること、字の美しさや上手さ、計算の正しさ・早さは、徐々にレベルアップさせていくとよいです。

- 「よくできたね。」
- 「きれいに書けたね。」
- 「頑張ったね。」
- 「もう一度やってみようか。」
- 「こんなこともできるんだ!」「次は、どうしたい?」

2年生の自主学習のポイント

<2年生はこんなとき> 参考資料：文部科学省HPなど「子どもの発達段階」

- 1年間の学校生活の流れを経験し、見通しが持てるようになっている。
- できることは自分でしたがる。自分のことは自分でする習慣をつけるのに良い時期である。
- 正しい鉛筆の持ち方はこの時期までに身につけられるようにすることが大切である。

<学校の主な学習内容>

- 160字の漢字、かけ算の九九、長さの単位、三角形・四角形について学習する。
- 質問したり質問に答えたり、グループで話し合ったりまとめたりする学習が増えてくる。
- 繰り返し練習することによって、力のつく学習内容がたくさんある。
- 学ぶ土台となる「返事やあいさつをする」「はきものをそろえる」「時間を守る」ことの定着を図る。



<こんな自主学習を> 楽しかったことや嬉しかったことを素直に自分の言葉で書かせることが大切です。書くことへの苦手意識・抵抗感が低くなります。また、質問しながら子どもの気づきを広げるようなアドバイスが重要です。

国語

- 姿勢や口形、声の大きさや速さに注意して、はっきりした発音で読む。
- 漢字を熟語にして書いたり、送り仮名を付けて書いたりする。
- 親子で本を読んだり、本について話をしたりする。
- 日記や作文を書いてみる。

※テーマは、学校での出来事でうれしかったことや楽しかったこと、頑張ったこと、興味をもっていること、休日の楽しかった出来事など、プラス面の内容で書くといいです。

⇒シールを貼ったり、にっこりマークを付けたりしてあげるだけでも喜ぶます。



算数

- たし算やひき算の筆算やかけざん九九を練習する。
- テストなどで間違えた問題に、もう一度取り組む。
- 自分で問題作りや身の回りの物の計測を行う。

生活科

- 身の回りの「？」を見つけて、調べてみる。
- 自分の成長を支えてくれた人に話を聞いてみて、まとめる。

<ほめて励ます言葉がけ> 1年生同様、取り組んだことをほめることが大切です。字の美しさや上手さ、計算の正しさ・早さは、徐々にレベルアップさせていくとよいです。興味・関心のあることを調べた時には、大いにほめる。

- 「よくできたね。」 ○「きれいに書けたね。」 ○「頑張ったね。」
- 「次はどんなことがしたい？」 ○「これもできそうだね。」 ⇒発展的な内容につながっていく。

3・4年生の自主学習のポイント

<3・4年生はこんなとき> 参考資料：文部科学省HPなど「子どもの発達段階」

- 好奇心が旺盛で、行動範囲が広がる。
- 自立心が芽生え、自分でやってみようとするが多くなるが、まだ手助けは必要である。
- みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるようになる。
- 認めてほめると自信をもつ。



<学校の主な学習内容>

- 特に3年生では「社会科」「理科」「総合的な学習の時間」「外国語活動」が始まり、学習内容が大きく変わる時期。
- 資料集や地図帳、国語辞典や漢字辞典などを使い、自分で調べる学習が多くなる。
- 新出漢字は、3年生は、200字、4年生は、202字である。
- 算数では、少しずつ分数や小数などの抽象的な内容を学ぶ。
- 四則計算（ $+$ ・ $-$ ・ \times ・ \div ）の基礎・基本を学ぶ。



<こんな自主学習を> 言葉の意味調べ、計算練習、社会や理科の復習などから始めてみるとよいでしょう。

国語

- 毎日1回は声に出して読む。何日か継続することで、すらすら読めて会話文にも気持ちがこもってくるようになります。
- 国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるように、常に手元に置いて使う。

算数

- 筆算では位を揃えて書き、手順を確かめながら正確に計算するように心掛ける。次第に正確さと速さを意識して、タイムなどを計ってみるのもゲーム的で楽しみながら取り組むことができる。
- 他の単位への換算ができるように、繰り返し取り組んでみる。

社会

- 地図記号を調べてみたり、自分の住む地域の地図を作ってみたりする。
- 地図帳で都市の位置や県名を確かめたり、47都道府県を間違えずに何秒で言えるかのタイムを計ってみたりする。

理科

- 生活経験と授業で学習した内容とのつながりを見付け、ノートにまとめてみる。
 - ※日なたと日かげ、水の温まり方など
 - ※虫眼鏡や火を使用するような危険な実験は、子どもだけでは行わないようにしてください。

<ほめて励ます言葉がけ> ちょっとした頑張りをはめる、他の子との比較ではなく、昨日の我が子と比べてほめることが大切です。

- 「昨日より、すらすら読んでいるね。」 ○「前よりも、きれいに書けている。」
- 「続けてやっているから、早くなったね。すごいね。」 ○「間違える数が、ずいぶん減ったね。」
- 「自分から～するようになって、うれしいよ。これからもがんばっていきましょうね。」

5・6年生の自主学習のポイント

<5・6年生はこんなとき> 参考資料：文部科学省HPなど「子どもの発達段階」

- 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になる時期。
- 自分を客観的に見つめたり、友達と自分を比べたりするようになる。
- 考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られる。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始める。



<学校の主な学習内容>

- どの教科も学習内容が多くなる。
- 家庭科や外国語科の学習が始まる。
- 新出漢字は、5年生193字、6年生191字であり、6年間で1026字になる。
- 筋道を立てて論理的に考えたり、抽象的なものの見方をしたりすることが求められる。
 - ※算数や社会科のグラフをもとに変化を捉え、グラフの範囲外の予測をする。
 - ※具体物で操作できないほどの大きな数量を求める際、関係性（比例関係・拡大・縮図）から予測して、答えを導き出す

<こんな自主学習を> 好きな学習・得意な学習から始め、毎日取り組むことが大切です。

国語

- 詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりする。
- 漢字の構成や字形を意識して練習したり、これまでに学習した漢字を使って文章を書いたりする。

算数

- 定規やコンパスを使って正しい図形を描けるようにする。
- 問題の内容を簡単な図形に表してから、式を立てる習慣をつくる。

社会・理科

- テーマを決めて、資料集・百科事典・インターネットなどで調べ、ノートにまとめる。
- ニュースや新聞記事から、世の中で起きていることに興味をもち、自分なりに調べてまとめる。
- 学習内容に出てきた地名などから、地図帳で都市の位置や県名を確かめたり、47都道府県を間違えずに何秒で言えるかのタイムを計ってみたりする。
- 生活経験と授業で学習した内容とのつながりを見付け、ノートにまとめてみる。
 - ※地形、ものの燃え方、天気など
 - ※火を使用するような危険な実験は、子どもだけでは行わないようにしてください。



<ほめて励ます言葉かけ> 子どもの話を聞き、成長を温かく見守ることで、将来への夢や目標をもって努力し続ける子どもになります。

- 「そんなことに取り組んでみたんだね。すごいね。」 ○「以前に習った漢字を使っているね。」
- 「興味のある事を見付けて、調べたんだね。すごいなあ。」
- 「自分から課題を見付けて取り組んだんだね。これからもがんばってね。」

円山小学校 自主学習のススメ

～自ら考え、自ら動き出すPDCA サイクルへ～

さっぽろっ子「学び」のススメ

さっぽろっ子「学び」のススメは、子どもと家庭、子どもと学校、学校と家庭をつなぐものです。

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。
大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。
学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める
共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。



学校も、家庭も、**まほうのかいわ** で習慣づくり

ま

学んだことを
一緒に振り返り
ましょう。

ほう

方法を一緒に
考えましょう。

の

伸びを認め、
ほめましょう。

かい

改善に向けて、
生活を一緒に振り
返りましょう。

わ

わからないこと、
できないことに
挑戦できるよう
励ましましょう。



札幌市教育委員会

円山小では「6年間の中で」、**自ら**自分の学びを
振り返り、**自ら**自分の学びを構築していく自主学
習をめざしています!

PDCA
サイクル
の重視!

